

■実施主体：(一社) みやぎ大崎観光公社 ■ダム活用箇所：管理用道路（閉鎖区域）

■所在地：宮城県大崎市 ■ダム管理者：国土交通省東北地方整備局鳴子ダム管理所

■ダム完成年度：1957（昭和 32）年 ■ダム形態：アーチ式ダム

■取り組みのポイント

- ①2016（平成 28）年の選奨土木遺産認定後、継続して春・秋にツアーを実施。近年のツアーは毎回概ね満員であり、リピーターも多く獲得。（ツアーは社会実験として選奨土木遺産認定前より実施。）
- ②酒造会社がダムに貯蔵している日本酒を、みやぎ大崎観光公社が一定数買い取り、ダムツアー参加者限定で販売。
- ③コロナ対策としてイヤホンガイドを導入。説明時に密になることを防止。
- ④地元鳴子温泉への誘客を重要な視点と捉えて、ツアーを企画催行。

■取り組みの概要

- ・ツアー形態は、ダム直下までバスで直行するものと、集合地点から徒歩でダム直下に向かう 2 種類が実施している。バスツアーでは、管理所職員が同行しガイドを担当。ウォーキングツアーでは、インストラクターがガイド兼任しており、公社からインストラクターへ謝金を提供している。閉鎖区域の門扉の鍵は、管理所より公社へ実施毎貸与される。
- ・過去のツアー参加者には毎回ダイレクトメールを送付することで、リピーターを獲得している。
- ・2022（令和 4）年冬季に、鳴子温泉の宿泊者に限定した、1 日 1 組限定の特別高付加価値型ツアーを開催予定。ダムの特別体験メニューとして、湖面遊覧、インクラインの活用等を行う。



すだれ放流（点検放流として毎年春実施）



ダムツアーの実施状況

1日1組限定

鳴子ダム 2日間

堤体見学ツアー




鳴子ダム職員による説明でもっと詳しくダムを知ろう！

宿泊	旅館大浴	食事	朝1回・夕1回
タクシー	中山平タクシー	添乗員	なし
		最少催行人員	1名

日・祝日出発、大人・小人同額、1組1名～3名まで、予約は2週間前まで

出発日	旅行代金
2022年 2月20（日）・27（日） 3月13（日）・21（月・祝）	2～3名1室（おひとり様） 31,000 円
1室1室	8,000 円増し

10のオススメポイント

- ①鳴子ダム職員による説明
- ②ダム操作室見学
- ③ダム展示室・本山隧道見学
- ④ダム湖の眺望※1
- ⑤インクラインに乗って堤体内探検！
- ⑥ダムで貯蔵した日本酒『大和伝』1人1本付き※2
- ⑦ダムノート、ダムカード付き（1人1セット）
- ⑧秘湯のお宿へ宿泊！夕食はお部屋食も貸切露天風呂付
- ⑨地元在住ドライバーが観光タクシーで鳴子観光（1日目）
- ⑩ダムまで送迎付き（2日目）

Go To トラベル事業について（2021年12月1日付）
Go To トラベル再開が決定した際には改めて弊社ホームページ等でご案内いたします。

※1 拝観時は裏山テラスからの見学になります。
※2 未成年のお客様にはダムで貯蔵した日本酒の代わりにバラ特産のりんごなどの特産品をご用意いたします。

協力 国土交通省東北地方整備局鳴子ダム管理所

一般社団法人 **みやぎ大崎観光公社** Miyagi Oaki Tourism Bureau

ダムツアー（秋季）の募集チラシ

出典：みやぎ大崎観光公社

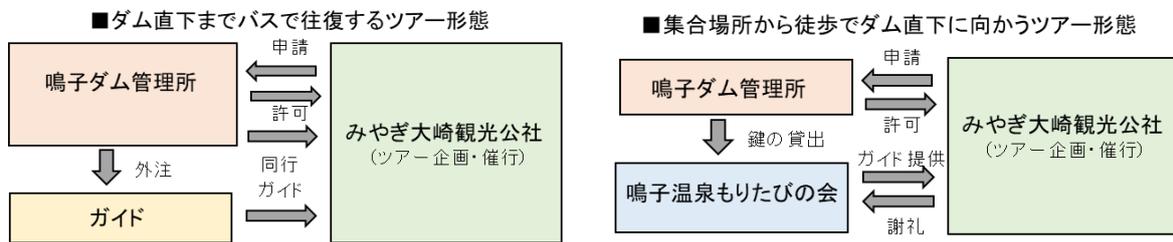
■ 人・組織

- ・(一社) みやぎ大崎観光公社(第二種旅行業)がダム直下へのツアー(バス・徒歩の2形態)を企画・催行。
- ・バスツアーでは、鳴子ダム管理所職員が同行。管理所が外注したガイドが施設説明を担当している。
- ・ウォーキングツアーでは、鳴子温泉もりたびの会がガイド兼インストラクターとして同行している。

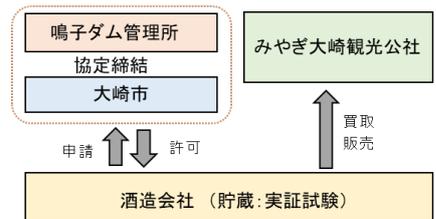
■ しゅくみ

〔事業スキーム〕

- ・みやぎ大崎観光公社が企画・参加者募集・催行を担い、鳴子ダム管理所へ閉鎖区域の利用を申請し許可を得て実施している。例年、すだれ放流の時期(春)と紅葉期(秋)に実施している。
- ・閉鎖区域の鍵の管理について、バスツアー型では、ダム職員が同行し実施。ウォーキングツアーでは、担当する団体へ利用の都度鍵を貸し出している。この際、ダム職員は同行しない。
- ・ウォーキングツアーに使用するノルディックポールは、インストラクターが無料で貸出を行っている。
- ・ツアーの際、公社からは多くて2名同行している。
- ・ガイド説明時にイヤホンガイドを使用することで、ガイド時の密となる状況を避けている。
- ・ダムツアー参加者に、管理所よりダムカードとダムノートを提供している。



- ・ダム管理所と大崎市が協定を締結し、実証試験として、酒造会社が、ダム点検用トンネルに日本酒を貯蔵している。
- ・上記の所蔵している日本酒の一定数を公社が買い取り、ダムツアー参加者限定で販売している。



〔運営計画〕

- ・ツアーは事前予約、事前支払いとしている。日本酒販売も事前予約制である。

■ 施設対策

〔施設整備〕

- ・小水力発電所の工事用道路を、地元協議により管理用道路として残置。現在ツアーで利用している。
- ・ダム直下へ至る管理用道路の法面に、土砂崩れを抑制する工事を実施した。

■ 地域連携方策

- ・観光公社のツアー実施目的は、鳴子温泉地区への来訪者を増やすことである。そのため、ツアーは赤字にならなければ良い(儲けを求めない)というスタンスで実施している。
- ・2022(令和4)年冬季には、宿泊型・高付加価値化型ツアーとして、1日1組限定のダム堤体見学ツアーを開催予定である。地元観光タクシーにより希望する地区の見学送迎、湖面遊覧やインクラインの利用を行う。より地域貢献に資するツアーを模索している。

■ 取り組みの成果

- ・仙台市や宮城県内からの参加者の他、北海道からも来訪がある。
- ・参加者にDMを送付し、リピーターを獲得している。毎回3割以上がリピーターである。